

第2回富山市市町村合併検証委員会での意見について

	意見	対応
1	安定した生活ができる目安として病院や介護についても安心できるようなデータがあると評価できる。	医療に関しては、地域別医療機関数及び病床数を示すとともに、市営医療機関について、介護についてもサービスの状況、地域におけるケア体制等について検証に追記しました。
2	各地域や町内ごとにどのくらいのボランティアが維持できているのか、また今後維持できるのかをしっかりと見ていく必要がある。	市民アンケート調査において、「この1年間で、地域における様々な活動に参加しましたか。」を質問項目に追加しました。合併検証の観点からボランティアの維持等についての記載は困難ですが、アンケート調査結果としては記載する予定としています。
3	新市建設計画を立てた時点で、どのような政策効果を期待して実施した事業なのか。事業を実施したことによってその効果が実現したのか。	新市建設計画に位置付けられた多くの事業は、まちづくりにおいて各地域が継続して実施してきた事業であり、そうした意味において一定の効果があったものと考えております。
4	新市建設計画で取り上げられている事業について、アウトプット、アウトカムが何かしらあったほうが、この新市建設計画に沿ってまちづくりをした結果がどうだったかというところが見えてよい。	
5	市町村合併により、民間にどのような波及があったかについてのデータ（住宅の新規着工数、スーパー等の小売店の新規出店等）も示すことができると良い。	「民間への波及」を項目として追加し、新規住宅着工数及び卸売業・小売業の事業所数、販売額を検証に追記しました。
6	市町村合併は行政の合併だが、官民連携やPPP等を考えると、行政とそれを支える様々な組織との連携が重要であり、その様々な組織が富山市と対応するような形で組織が再編されていったのか、あるいは組織間の連携が図られるようになってきたのか。	外郭団体やその他関係機関の再編状況やそれによる効果を検証に追記しました。
7	旧富山市以外のコンパクトシティ政策の影響について、具体的にどのような効果があったのか、一般の市民の目線からはわかりにくいと感じる。中心市街地以外への効果を説明していくという姿勢が必要ではないか。	コンパクトなまちづくりは本市の基本となる政策であり、市全体を対象とし、公共交通が便利な地域に住む市民の割合が増加するなどの効果がみられるところですが、合併後新市となって、新たにスタートを切った政策であることから、合併の検証とは別に行うものと考えております。

8	<p>それぞれの個別計画が、市町村合併を踏まえて、合併後の富山市について全体的に目配りしながら、どのような計画がどういった考え方のもとで立てられていったのか。</p>	<p>富山市総合計画は、合併協議における新市建設計画を踏まえ合併後、本市の総合的な計画として平成19年度からを計画期間として策定しています。また、平成20年度からを計画期間とする富山市都市マスタープランを策定し、平成29年3月には富山市立地適正化計画を策定しました。</p> <p>分野ごとの個別計画としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> 富山市公共交通活性化計画（H19～38） 富山市中心市街地活性化基本計画（H19.2～24） 富山市高齢者総合福祉プラン（H18～20） 富山市商業振興・活性化プラン（H24～28） 富山市環境基本計画（H19～23） <p>等を順次策定しています。</p> <p>各計画は、総合計画を最上位計画として整合を図るとともに、合併で広がった市域の地域特性や、新市建設計画で課題としていた本格的な少子・高齢化への対応を各計画策定の背景とし、その上でそれぞれの分野における制度や固有の課題を踏まえて方向性を示したものとなっています。</p>
9	<p>それぞれの地域の昼間人口と夜間人口の動態を、経年的な変化も含めて示すことはできないか。</p>	<p>昼間人口と夜間人口は、国勢調査における「従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果」で市町村間は確認できますが、同市内では調査されていないため、お示しすることはできません。</p>
10	<p>扶助費、税収は基本的に大きなスケールメリットは働かない。財政スケールメリットは何を意味しているのかをはっきりさせる必要があり、そのあたりの財政の検証についてもできれば良い。</p>	<p>新市建設計画において、合併時のスケールメリットとしては人件費（職員数等）の削減としています。また、類似する公共施設の整理なども、スケールメリットをもたらすものと考えられますが、新市建設計画において公共施設の統合整備については、「原則として、現行のものを引継ぐものとし、統合整備を行うにあたっては、市民生活に急激な変化を及ぼさないように利便性に十分配慮するとともに、市民ニーズを反映し、新市の一体性の確保、地域の特性やバランス、新市の財政状況等を考慮しながら、効率的・計画的に進めていくことを基本とします。」としており、平成28年度に富山市公共施設等総合管理計画を策定し、現在進行形で地域の理解を得ながら戦略的に公共施設マネジメントを進めているところです。</p>